

第7回全国U18女子セブンズラグビーフットボール大会関東ブロック予選会 実 施 要 項

1. 主 催 関東ラグビーフットボール協会
2. 主 管 関東ラグビーフットボール協会女子委員会、群馬県ラグビーフットボール協会
3. 目 的 (1) 高校ラグビー部・クラブチームを問わず、単独チームでの関東大会を目指した女子セブンズ大会を開催することで、多くのチームが単独で試合ができるチーム作りを目指すようになり、さらなる競技人口・チーム数の増加を図る。
(2) 女子選手だけで毎日練習できるチームが増えることで、個々がレベルアップし、女子ラグビー全体の強化に繋げる。
4. 期 日 令和6年10月13日(日)10:30競技 16:30競技終了
5. 会 場 桐生市運動公園ユニー広場
6. 競技規則 (公財)日本ラグビーフットボール協会制定の令和6年度競技規則による。
19歳未満 国内高専・高校以下用 競技規則 を適用する。
ドレスチェックは実施しない。チームで責任を持ってチェックしておくこと。
(爪、ピアス、ヘアピン、ネックレス、指輪、スパイクのポイント)
試合時に違反が確認された選手に関しては、その場で退出し、外したことをレフリーが確認後、再度出場することができる。
第4条 プレーヤーの服装 4.1 追加着用を認めるもの(義務)
WRが追加着用を認めるものの内、以下のものは装着・着用を義務とする。
(f) マウスガード、歯を保護するもの
(g) WR 競技に関する規定第12条に適合するWRマークがついたヘッドギア
7. 競技方法 (1) 試合時間は7分ハーフとする。
(2) 試合方法及び組み合わせは、大会参加チーム数により、大会事務局/関東ラグビーフットボール協会女子委員会において決定する。
(3) 試合終了時点において同点の場合は、下記の基準と順序によって上位進出チームを決定する。
Ⅰ) トライ数の多いチーム。
Ⅱ) ペナルティトライの多いチーム。
Ⅲ) コンバージョンゴールの多いチーム。
Ⅳ) Ⅰ)～Ⅲ) すべて同数の場合、抽選により上位進出チームを決定する。
Ⅴ) 決勝戦において、同点の場合は両チーム優勝とした上で、Ⅰ)～Ⅲ) で両チームに差がない場合、抽選を行い、推薦順位を決定する。
(4) ハーフタイム：ハーフタイムは2分以内とする。
ハーフタイムはベンチに戻らず、サイドチェンジと水分補給のみとする。
(5) 選手とジャージの背番号が必ず一致したメンバー表を提出する。
当日の試合ごとの登録選手は12名までとし、競技区域内にいるプレーヤーの人数は7名を超えてはならない。
(6) 対戦する両チームのジャージ、柄が似ている場合、コイントスに勝利したチームが着用ジャージの選択権を得る。
8. 参加チームおよび参加選手の資格
(1) 参加選手は、学校教育法に規定する高等学校に在籍する生徒で、(公財)日本ラグビーフットボール協会に個人登録していること。
(2) 1チームの登録選手は10名～12名とする。安全対策上、10名に満たないチームはエントリーできない。
(3) 参加選手のエントリーは1チームのみとする。
(4) 参加選手の資格は校長またはクラブ代表者が適当と認めたもので、次の諸項に該当する者であること。
ア. 年齢は、平成18年(2006年)4月2日以降に生まれた者とする。但し、同一学年での出場は1回限りとする。
イ. 転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。また、クラブ転籍後6ヶ月未満のものは参加を認めない。但し、一家転住等やむを得ない場合は、大会事務局の認可が必要である。

- (5) 留学生の出場について
 - ア. 卒業を目的とした留学生に限る。
 - イ. 登録については2名までとする。
 - ウ. 出場できる人数は1名までとする。
 - エ. 日本国内の中学校を卒業し日本国内の高等学校に進学した外国人選手は、日本人と同様に扱う。但し、保護者の在留する住所が日本国内にない場合は留学生として扱う。
- (6) (公財)日本ラグビーフットボール協会規定、その他の施行細則に抵触する者は参加できない。
- (7) その他、参加資格に疑義がある場合は大会事務局で裁定する。
- (8) 参加資格の特例
 - ア. 上記(1)に定めるチームの生徒以外で、(2)～(5)の大会資格を満たし、かつ、当該都道府県ラグビーフットボール協会の推薦するものの参加は別途定める規定に従い、参加を認める。
 - イ. 上記(4)アの但し書きについては、各学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、2回限りとする。

9. 健康管理及び安全対策

- (1) 大会参加にあたっては、当該校にて予め健康診断を受けさせ、健康管理に充分留意すること。
- (2) 大会期間中の参加選手の保険については、主催者で加入するが各チームにおいても加入することが望ましい。
- (3) 試合中の傷害については現場において応急処置を施すが、その他については(公財)日本ラグビーフットボール協会の慣例に従う。
- (4) 参加選手は全員保険証またはそのコピーを持参し、大会期間中チーム責任者が管理すること。

10. チーム編成と申込み方法

- (1) 大会エントリーは選手10～12名、スタッフ4名の合計16名。
参加チームは、所定の「大会エントリー用紙」を1通作成し、令和6年9月27日(金)必着で大会事務局宛てに郵送またはメールにて送付のこと。
- (2) 「大会エントリー用紙」提出後、負傷・その他の事由により、選手を変更する場合は、10月10日(木)午前12:00までにメールで大会事務局へ送付すること。それ以降の変更は代表者会議まで、所定の「選手変更届」をメールで大会事務局へ送付し、承認を受けること。
- (3) 大会エントリー選手の変更は、代表者会議を以って締め切りとする。

11. 費用

- (1) 大会参加費 各チーム10,000円(代表者会議にて徴収)
- (2) 旅費は、各チーム負担とする。

12. 代表者会議

日時 令和5年 10月10日(木) 19:00 ZOOMにて実施

- (1) 出席者 参加チーム代表者・競技役員

13. 開閉会式

開会式 実施なし

閉会式 優勝チーム、準優勝チームを表彰 順位の発表も行う。

14. その他

- (1) 参加チームは、必ず責任者が引率するものとする。
- (2) 参加チームは、当該校生徒を含む応援団の行為についても責任を負うものとする。
- (3) 本大会の運営は大会事務局がこれに当たる。
- (4) 第7回全国U18女子セブンズラグビーフットボール大会に関東高体連ラグビー専門部から推薦チームを選出する場合、この大会の成績を参考にする。

15. 大会事務局

大会エントリー：9月27日(金) 〆切

メールにエントリー用紙を添付し、

関東ブロック女子総務、関東ラグビーフットボール協会事務局まで

選手変更連絡：１０月１０日（木）ㄨ切 １２：００迄

メール本文に記載の上、関東ブロック女子総務、関東ラグビーフットボール協会事務局まで

関東ラグビーフットボール協会 女子委員会 森田 龍

関東ブロック女子総務 椎名 祐大

「大会参加資格の別途に定める規定」

- １．学校教育法第７２条、１１５条、１２４条及び１３４の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- ２．以下の条件を具備すること。
 - (１) 大会参加を認める条件
 - ア 高等学校体育連盟及び（公財）日本ラグビーフットボール協会の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ 参加を希望する専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校・クラブにあつては、都道府県の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校・クラブにあつては、活動が日常継続的に責任ある指導者のもとで適切に行われており、活動時間、運営が適切であること。
 - (２) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 実施要項を遵守し、大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、責任ある指導者が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。